

学習生かし短命県返上

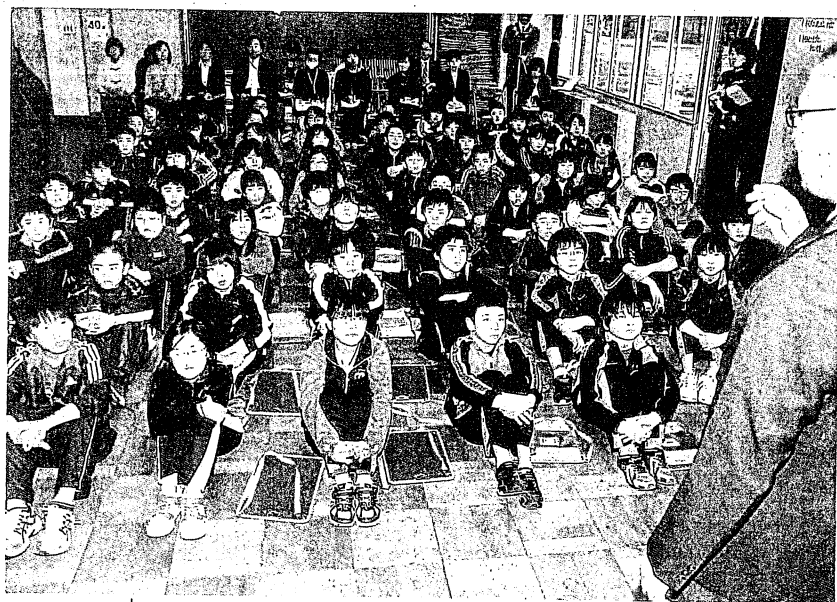
中郷小6年生「プロジェクト終了」

授業振り返り、誓い

黒石

黒石市の中郷小学校（山内孝行校長）は1日、児童たちが健康について考える「短命県返上プロジェクト授業」の最終授業を行った。児童たちはこれまでの授業を振り返り、長生きするために大切なことを確認し合った。

（佐藤正悟）



中郷小は、児童の健康意識を高め、全国最下位の本県の平均寿命を延ばすきっかけにしようと、10月にプロジェクト授業をスタートした。6年生を対象に、弘前大学大学院医学研究科社会医学講座（中路重之教授）と共同で5回、黒石高校看護科と共同で1回実施した。

最終授業で児童たちは、自身の生活習慣の見直すべき点を考えたほか、家族や友人に向けて「禁酒をしよう」「夜遅く寝るのはやめよう」など、健康的に生きるためのアドバイスをくれる

高橋准教授④の説明を真剣な表情で聞く中郷小の児童たち

1つに分かれて考えた。盛季香さんは、これまでの授業を振り返り「生活習慣が乱れると『生活習慣病』になることなどが分か

り、いい勉強になった。長生きして青森県の平均寿命を長くしたい」と述べた。同講座の高橋一平准教授は取材に「先生たちと役割

分担がうまくでき、子どもたちに伝えたいことを伝えられた。県内全域にも取り組みを広げていきたい」と話した。